

ネット de アンケート

● 焼き肉の内臓肉についてきく

内臓人気は牛タン、次いでハラミ
女性でも内臓肉好きが過半に



いよいよことしも本格的な焼き肉シーズンに突入する。昨今では、専門性を打ち出すという意味からも、さまざまな部位やスペックが焼き肉用として開発され販売されるていが、どれだけの焼き肉アイテムが翌年、翌々年まで定番として残っていくのだろうか。焼き肉の定番といえば、いろいろ思い浮かぶだろう。バラ、カルビ、ロースなど。そんな中でも、内臓肉は定番として外せないアイテムの一つ。好き嫌いの分かれるアイテムであるが、果たして、どれだけの人が焼き肉の内臓肉を好きなのだろうか。牛内臓肉と豚内臓肉で差は出ているのだろうか。そこで、焼き肉シーズン突入を前にして今回のネットでアンケートでは、焼き肉の内臓肉についてアンケートを行った。

アンケートの有効回答数は1,246件。男女の比率は男性が51.4%、女性が48.6%。年代別では30代の割合が一番高く33.5%となり次いで40代(25.0%)、20代(15.9%)の順となった。都道府県別では東京12.1%、神奈川8.1%、大阪7.5%、愛知6.8%、千葉6.7%の順。

Q1 牛肉の内臓肉(焼き肉用)は好きですか

好きが圧倒的、70%以上が回答

単純に牛の内臓肉の好き嫌いをきいてみた。「好き」という回答が73.6%となり、大半を占める結果となった。もう少し、「嫌い」という回答が多いかと予想をしていたが、「嫌い」の回答は10%を切るという結果。この質問を男女別にみると男性の「好き」は

78.1%、女性は69.9%と、男性の方が10%ほど高くなっている。美容効果のあるコラーゲンなどをうたい女性のファンも増えてきているが、アンケートみる限りではやはり男性の方が内臓肉を好きだという人が多い。

都道府県別にみると、東京の「好き」は

73.1%とほぼ全体の平均値と同じ割合に。「好き」の割合が高かった都道府県は北海道で87.0%と9割近い数値となった。地域別にみると、「好き」の割合が高いのは件数は少なかったが、北陸で、93.3%と9割以上の高い割合となった。逆に低かった地域は、甲信越で60.0%と全体の平均値よりも10%以上低い数値。ちなみに、関東地方の「好き」は74.5%、近畿地方は71.4%となり、西と東でそれほどの大きな差は出なかった。



Q1 牛肉の内臓肉(焼き肉用)は好きですか

好き.....	73.6%
嫌い.....	7.4%
どちらでもない.....	19.0%

Q2 豚肉の内臓肉(焼き肉用)は好きですか

豚内臓は牛ほど支持高くない

では、豚の内臓肉はどうか。「好き」の回答割合は55.8%となり、

「どちらでもない」の回答は32.2%となり、ともに牛内臓肉のそれを20%近く下回った。アンケートでみる限りでは豚の内臓肉は牛

れと(8.7%)比較すると7%近い差が出ている。

都道府県別で「好き」の割合が低いのは大阪(39.8%)で、逆に高かったのが北海道(84.9%)。北海道は、これで牛・豚ともに80%を超えており、アンケートみる限りでは内臓肉の支持率は高いようだ。地域別で「好き」の割合が50%を切った地方を上げてみると近畿(42.2%)、四国(41.9%)

Q2 豚肉の内臓肉(焼き肉用)は好きですか

好き.....	55.8%
嫌い.....	12.0%
どちらでもない.....	32.2%

の内臓肉ほど支持をされているとはいいいない。男女別にみると女性の「嫌い」が15.2%となり、男性のそ

Q3 実際、家庭で焼き肉をする場合、買う比率が高いのは

牛購入は大阪が飛び抜ける

実際に、家で焼き肉を行う場合に買う比率が高いのどちらかをきいてみた。

「牛の内臓肉」が40.6%でトップとなり、「豚の内臓肉」は15.0%とその割合が半数にも満たなかった。「内臓肉は買わない」という人も22.6%おり、家庭で焼き肉となると、においなどの理由で敬遠されることもあるが、内臓肉の場合、このにおいという点で敬遠される度合いも高いのかもしれない。

では、都道府県別にこのアンケートをみてみよう。

やはり各県で「牛の内臓肉」の割合が高かったが、東京(34.0%)、神奈川(38.8%)ともに全体の平均値を下回っており、大阪が62.2%と飛び抜けて高くなっている。ちなみに大阪の「豚の内臓肉」の回答は4.4%となり、「牛の内臓肉」との差は実に10倍以上。

地方別にみても近畿の「牛の内臓肉」の支持割合は60.2%と6割を超えており、「関西

は牛」という特色がはっきり出たアンケート結果となった。「豚の内臓肉」の回答割合が「牛の内臓肉」のそれを上回っているのが北海道で、「牛の内臓肉」が16.7%、「豚の内臓肉」が33.3%となり、北海道では倍近く「豚の内臓肉」の支持が高くなっている。

Q3 家庭で焼き肉をする場合、買う比率が高いのは

牛の内臓肉.....	40.6%
豚の内臓肉.....	15.0%
半々.....	21.8%
内臓肉は買わない.....	22.6%

Q4 家庭で焼き肉をする場合、買う比率が高いのは

味付けとそうでないはほぼ同数

焼き肉用の内臓肉の商品形態についてきいてみた。

回答をみる限りでは、「味付けがされていない内臓肉」と「タレで味付けがされている内臓肉」がほぼ互角の割合。票数にして5

ポイント差という状況。しかし、都道府県別にこの回答をみてみると、少し、各県によって差が出てきている。

神奈川は、「タレで味付けがされている内臓肉」が34.0%となり

「味付けされていない内臓肉」のそれを(28.9%)少し上回っている。神奈川以上に差が出てるのが、大阪と愛知で、大阪は「味

付けがされている内臓肉」が44.0%と4割を超えており、逆に愛知県はタレで「味付けがされていない内臓肉」が48.8%と5割に迫る支持率となった。



Q5 家庭で焼き肉をする時、必ず買う牛内臓肉は(複数回答可)

やはりタンが一番人気に

アンケートみる限りでは、牛内臓肉の王道ともいえるアイテムが上位を占めた。1位は「タン(51.8%)」、2位「ハラミ(44.2%)」、3位「レバー(36.7%)」。1位の「タン」は半数以上の人の支持を得ている。価格の高騰や品薄など、さまざまな逆境ともいえる状況を経ても半数の以上の支持を得ている「タン」は、やはり多くの人に好まれる焼き肉アイテムであるといえるだろう。

回答割合の高かった都道府県別

にこのアンケートをみてみよう。「タン」の支持割合が高いのは北海道で61.1%と唯一6割を超えている。逆に低かったのが福岡で35.9%と4割を切っている。「ハラミ」の支持割合が高かった都道府県は大阪で57.6%と半数以上の支持を集めている。低いのは福岡の30.8%。「レバー」の

割合が高いのは44.6%の愛知。ただし、大阪も43.5%で平均値よりも高くなっている。

地域別にみると「タン」の支持割合が一番高いのが中国(70.4%)で、逆に低いのが九州(36.1%)

Q5 家庭で焼き肉をする時、必ず買う牛内臓肉は(複数回答可)

タン.....	51.8%
レバー.....	36.7%
ミノ.....	24.8%
ハチノス.....	3.0%
センマイ.....	7.4%
ギアラ(赤センマイ).....	1.8%
腸(テッチャン).....	26.1%
ハラミ.....	44.2%
ハート.....	5.5%
ツラミ.....	2.2%
いろんな内臓肉がミックスされたパック商品.....	12.5%
その店でしか買えない内臓肉.....	2.6%
その他.....	2.1%



%)。「ハラミ」は上が四国 (67.7%)、下が北陸と九州 (ともに31.3%) となっている。

「レバー」は四国が41.9%と地域

別の中で一番高いが、東北も40.2%となりこの2地域のみが40%を超えている。低かった地域は九州

で28.9%と3割を下回った。この

アンケートをみる限りでは九州は突出して回答の割合の高かったアイテムはなかった。

Q6 家庭で焼き肉をする場合、牛肉臓肉にける一人前の金額の目安は

牛肉臓は500円を目安に

回答の割合が高かったのが、「500円」の22.3%。次いで、「300円」の12.0%となった。3位には「1,000円以上」が11.6%で入っており、「焼き肉イコールごちそう」的な要素もこのアンケートではみえている。

地域別にこのアンケートをみると、「500円」の回答割合が一番高かった地域は東北 (32.6%) で全体の平均値よりも10%以上高くなっている。逆に低かった地域は18.0%の

近畿。

「300円」の回答が多かったのが東海の14.8%。逆に低かった地域は東北で9.5%と10%を切っている。

「1,000円以上」の回答割合が高か



ったのが中国で17.1%と全体の平均値より5%ほど高い。低かった地域は九州の6.4%であった。

Q6 家庭で焼き肉をする場合、牛肉臓肉にける一人前の金額の目安は

100円	1.3%
200円	4.6%
300円	12.0%
400円	7.2%
500円	22.3%
600円	6.7%
700円	5.0%
800円	8.6%
900円	1.9%
1,000円以上	11.6%
牛肉臓肉は買わない	18.9%

Q7 外食で焼き肉を食べる場合、必ず注文する牛肉臓肉は

外食でもタンの人気衰えず

では外食店で食べる場合のアイテムはどうか。

やはりここでも「タン」が強くて72.9%となり、家での焼き肉時よりもその割合は高くなっている。2位にはやはり「ハラミ」が入っており、その支持割合は52.4%とこちらも家よりも高い数値となっ

ている。3位は41.0%の「レバー」で、若干ではあるが、家るときよりも割合は上がっている。全体的にみて、各アイテムで、家の時と比較して、支持割合は上がっているようだ。とくに「センマイ」は票数もかなり増え、倍以上のアップとなっている。

地域別にみると、「タン」の支持が高かった地域は東海の77.2%、一番低かったのが九州の62.7%だが、家るときと比較して地域間で大きな差は出ていない。

「ハラミ」の支持が高い地域は四国で64.5%となり、全体の平均値よりも10%以上の支持率。低かったのは九州の32.5%。ちなみに、九州で2位に入ったアイテムは



49.4%の「ミノ」だった。「レバー」は関東が43.7%と高く、低かったのは甲信越の27.5%。

今回の質問で票を伸ばした「センマイ」をみると、回答の割合が高かった地方は中国で25.4%と4分の1以上の支持を集めた。都道府県別に大阪と東京を比較してみると、各アイテムで、それほど大きな差は出ていない

が、「腸 (テッチャン)」で大阪が31.5%の支持を集めたのに対して東京は19.6%と低くなっている。ちなみに、神奈川のそれは13.0%と東京よりもさらに低くなっている。

Q7 外食で焼き肉を食べる場合、必ず注文する牛肉臓肉は (複数回答可)

タン	72.9%
レバー	41.0%
ミノ	37.1%
ハチノス	6.2%
センマイ	16.1%
ギアラ (赤センマイ)	5.0%
腸 (テッチャン)	27.4%
ハラミ	52.4%
ハート	6.3%
マメ	0.8%
ツラミ	3.4%
牛肉臓肉の盛り合わせ	10.7%
その店でしか食べられない牛肉臓肉	5.8%

Q8 外食で焼き肉を食べる場合、注文しやすい牛肉臓肉の1人前の価格は

「1,000円」と「500円」に分かれる

最近では低価格の焼き肉店が増えてきたが、このアンケートをみる限

Q8 外食で焼き肉を食べる場合、注文しやすい牛肉臓肉の1人前の価格は

100円	0.7%
200円	2.6%
300円	11.2%
400円	11.1%
500円	21.1%
600円	11.1%
700円	6.9%
800円	11.0%
900円	2.8%
1,000円以上	21.5%

りでは「1,000円以上」の支持率が一番高く、21.5%となり、2位には僅差で「500円」が21.1%で入った。極端な見方をすれば個店派とチェーン店派に分かれたようなアンケート結果といえるのかもしれない。個店派で焼き肉を食べる人頻度が高い人は「1,000円以上」を選択し、チェーン店で食べる人は「500円」を選択した、という図式があるように思う。では、この質問を前質問と合わせて考えてみる。前質問で「タン」と回答があった人の1位は「1,000円以上」(22.5

%)、2位は「500円」(21.4%) となった。「ハラミ」は1位「1,000円以上」(25.2%)、2位「500円」(20.4%) となり「タン」と比べて1位と2位の差は広がっている。「レバー」は1位が「1,000円以上」(26.3%)、2位「500円」18.3%となり、その差はより広がっている。

地域別にみると、「1,000円以上」の回答割合が高いのは近畿の26.3%、逆に低いのは九州の14.5%であった。「500円」の回答の割合が高い地域は関東の25.1%で、低かったのは四国の16.0%であった。